

令和7年度
第3回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「プラスチック分別回収について」

「都市交流について」

「災害対策について」

台東区 総務部 広報課

令和7年度 第3回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）

目的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内容

- (1) プラスチック分別回収について
- (2) 都市交流について
- (3) 災害対策について

調査概要

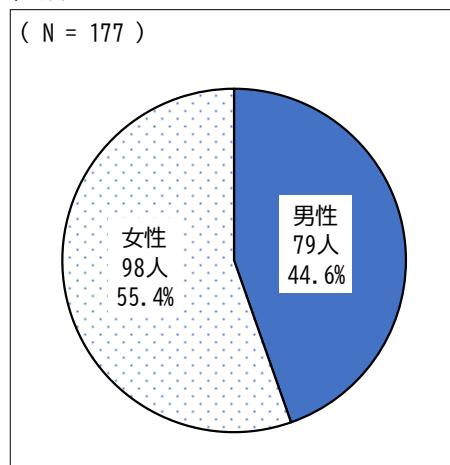
調査期間 令和7年9月26日（金）～10月9日（木）

対象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター25名、Eメールサポーター175名）

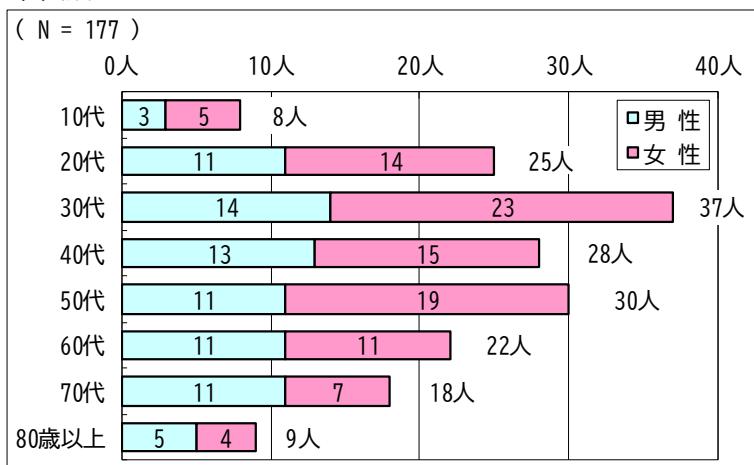
有効回収数 177名（郵便22名、Eメール155名） 有効回収率88.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男性	5人	5人	3人	12人	11人	3人
女性	5人	2人	4人	6人	7人	8人
計	10人	7人	7人	18人	18人	11人
地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	4人	9人	11人	7人	9人	79人
女性	13人	15人	9人	13人	16人	98人
計	17人	24人	20人	20人	25人	177人

職業別

職業	自営業・個人事業主等	会社員・公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	20人	92人	22人	13人	17人	13人	177人

目 次

I 調査結果の分析

「プラスチック分別回収について」	1
「都市交流について」	9
「災害対策について」	17

II アンケート質問と回答 26

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政センター)

I 調査結果の分析

【プラスチック分別回収について】

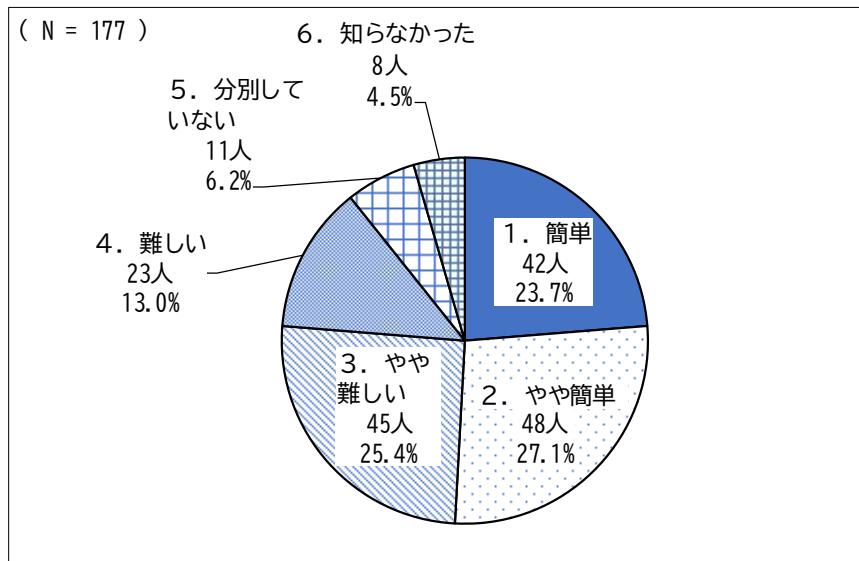
台東区では、プラスチックの分別回収を令和6年10月から区内の一部地域で、7年4月から全域で開始しました。

先行開始した地域で1年、それ以外の地域で半年経過した現在、順調にプラスチックの回収が行われています。今回の調査でも9割近い方が「分別している」と回答しています。一方で4割近くの方が、分別が「やや難しい」「難しい」と回答しています。「チューブ類」や「ボトル類」が分別に迷った品目とされており、自由意見においても「具体的な品目で分別に迷っている」との意見をいただきました。

今回の調査結果をもとに、「汚れは軽くそそぐ程度で良い」、「汚れが落とせないものは燃やすごみとして出す」など、プラスチックの分別方法をよりわかりやすくお知らせするともに、回収実績や資源化の流れについても情報発信してまいります。

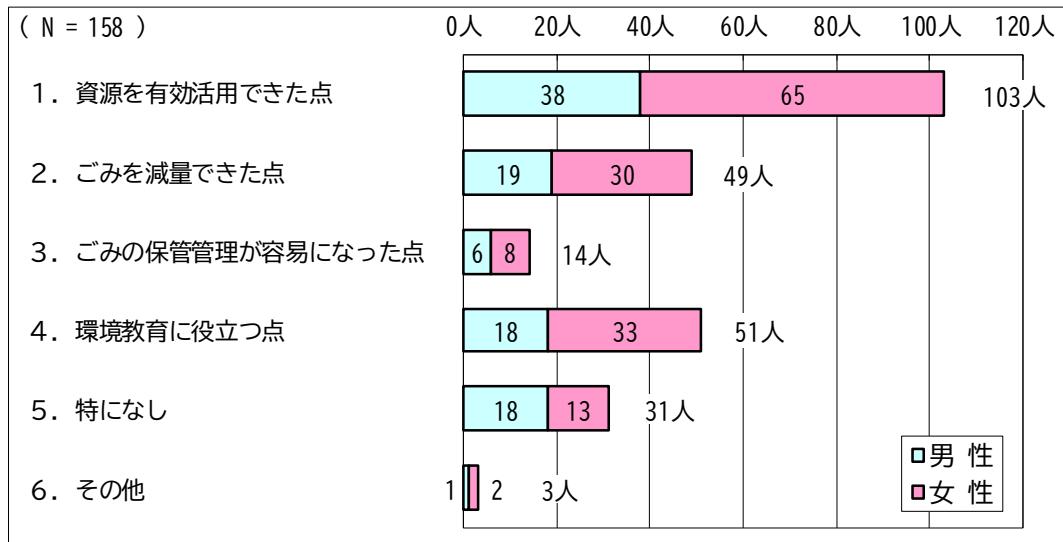
(環境清掃部 清掃リサイクル課)

設問1：区では、プラスチック分別回収を令和7年4月から区内全域で実施していますが、実際にやってみてどのように感じましたか。



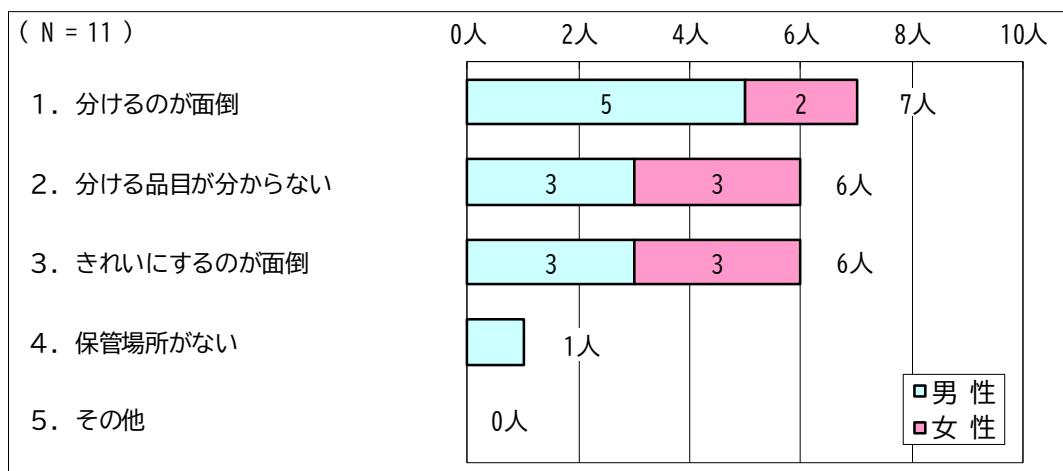
設問2：設問1で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。

プラスチックを分別することで、良かったと思う点は何ですか。（複数回答可）

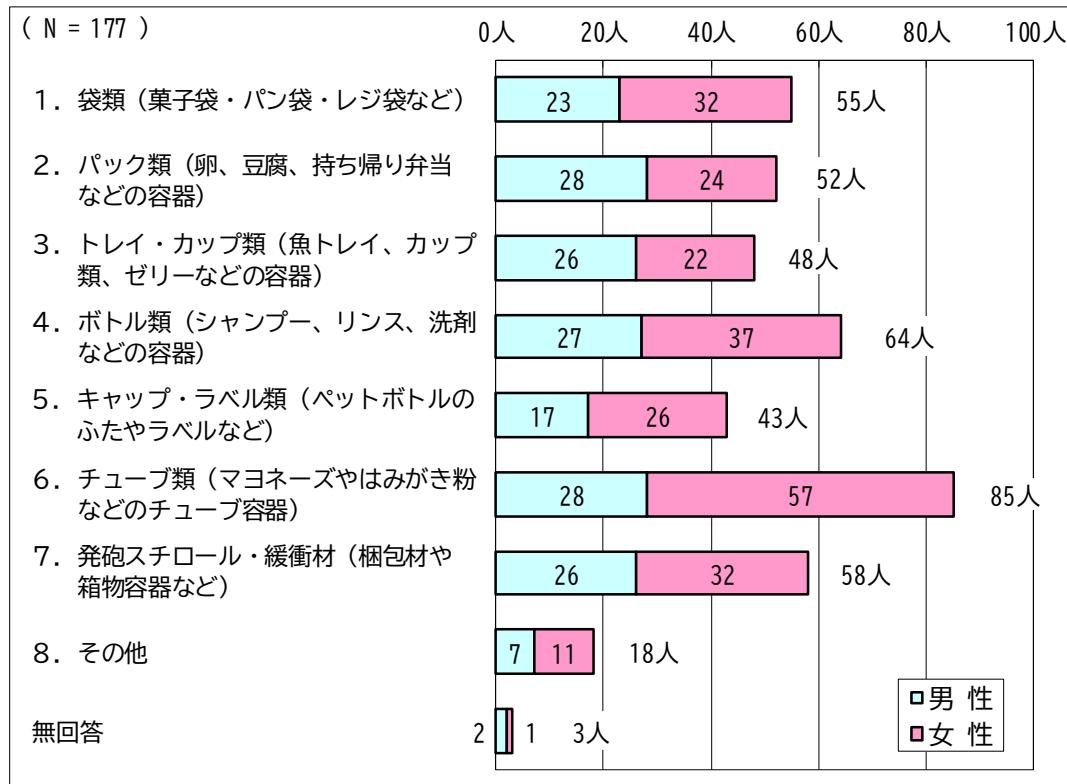


設問3：設問1で選択肢5「分別していない」を選択した方にお伺いします。

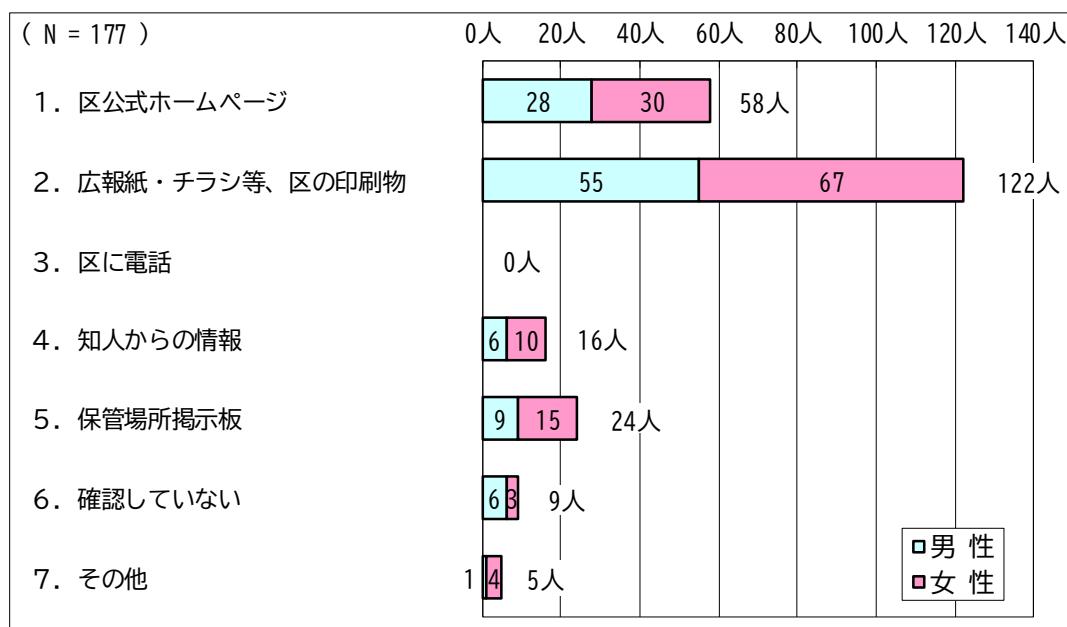
プラスチックを分別していない理由は何ですか。（複数回答可）



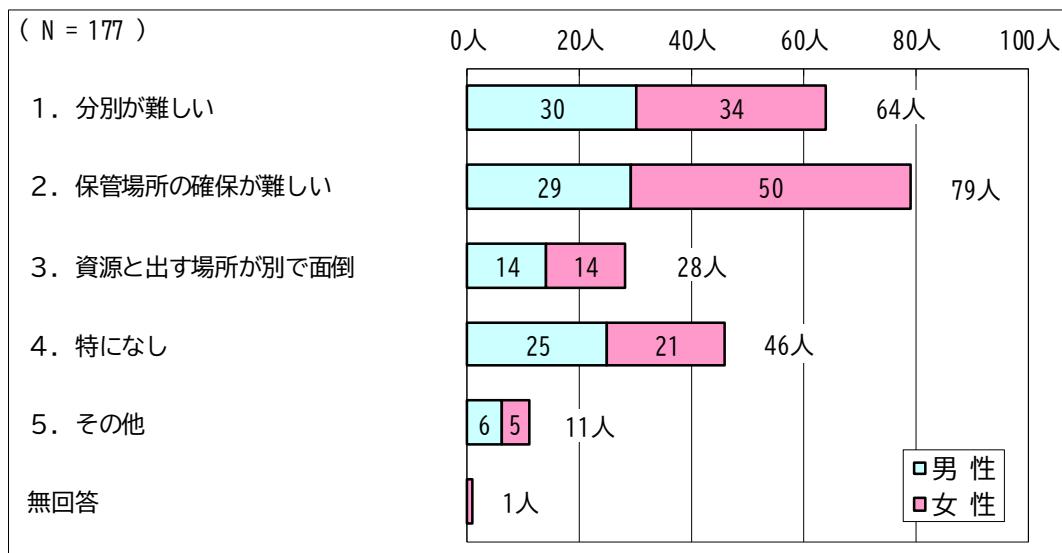
設問4：実際にプラスチック分別をした際、迷った品目は何ですか。分別をしていない方は、分別するにあたり迷うと思われる品目は何ですか。（複数回答可）



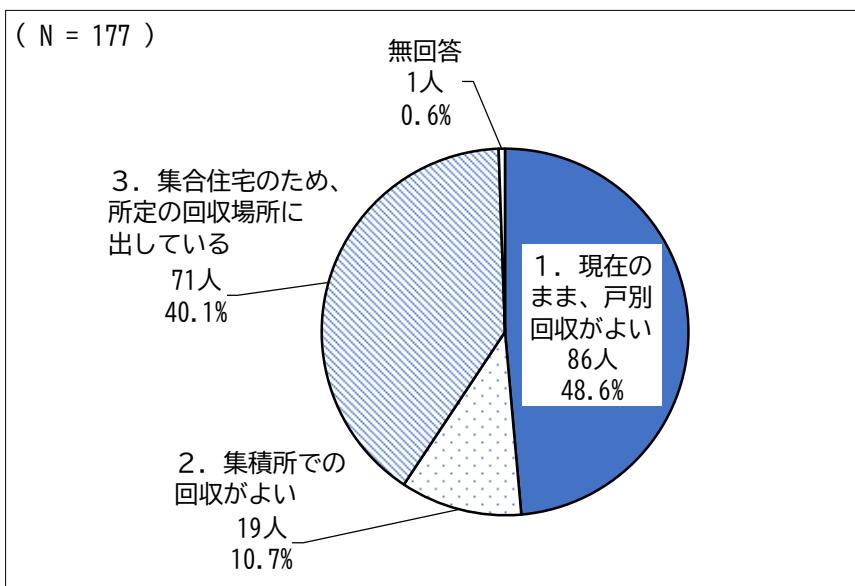
設問5：実際にプラスチック分別をした際、分別方法をどのように確認しましたか。分別をしていない方は、どのような手段で分別方法を確認すると思いますか。（複数回答可）



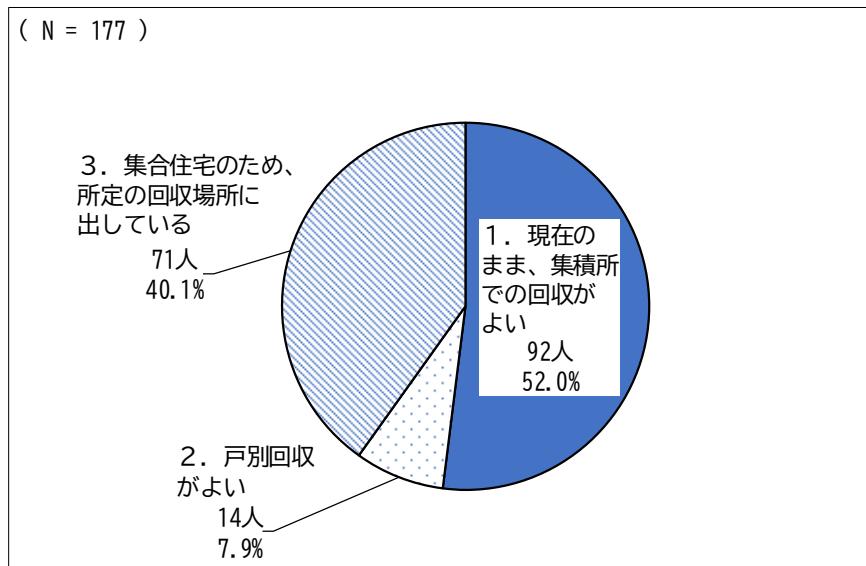
設問6：実際にプラスチック分別をしてみて、困ったことはありましたか。分別をしていない方は、どのようなことが困ると思いますか。（複数回答可）



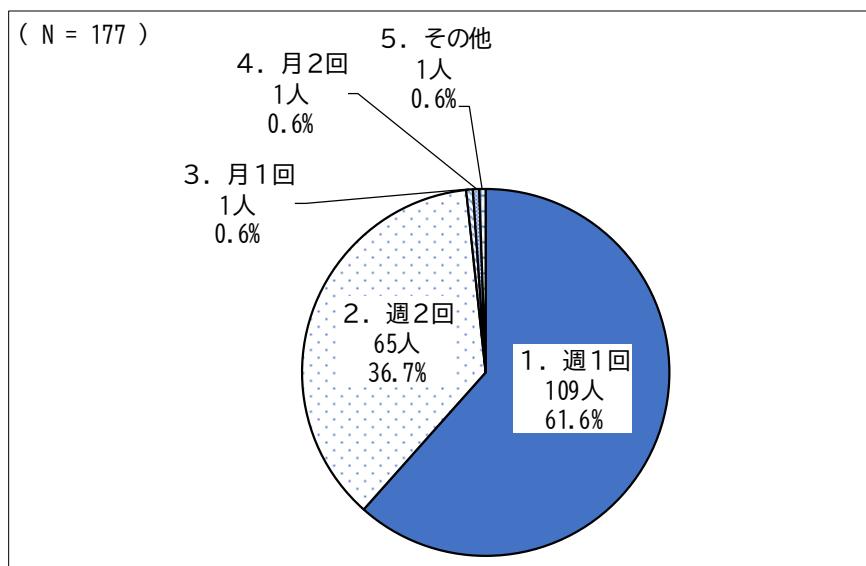
設問7：台東区では、ごみの「燃やすごみ」「燃やさないごみ」と「プラスチック」は建物の前に出す戸別回収をしていますが、どのような回収方法がよいと思いますか。



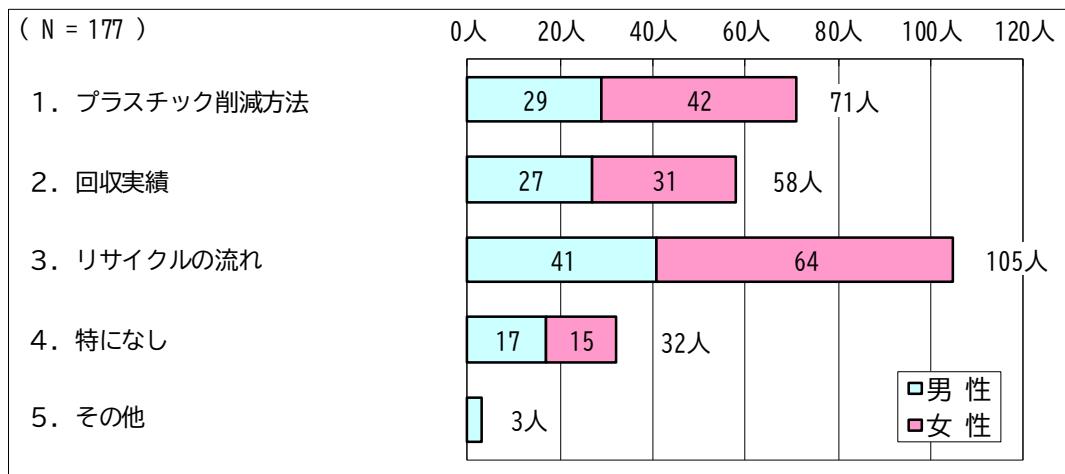
設問8：台東区では、資源の「古紙」「びん」「缶」「ペットボトル」は集積所で回収していますが、どのような回収方法がよいと思いますか。



設問9：現在、「プラスチック」は週1回資源回収の日に回収していますが、適切だと思う回収頻度はどのくらいですか。



設問10：プラスチック分別回収について、どのようなことに興味がありますか。
(複数回答可)



設問11：プラスチック分別回収について、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・付着している汚れがどの程度まで良いのか、迷う時がある。迷った時は燃えるごみとして出しているが、基準をもっとわかりやすく知らせるほうが良い。外国人居住者も増えているので外国語の丁寧な説明を増やしてほしい。
- ・お菓子の袋やトレイなど、洗剤を使って油分を除去するなど、どの程度まで綺麗にすれば良いのか判断が難しい。
- ・プラスチック分別回収により燃やすごみが減った。燃やすごみ回収を週1回、プラスチック分別回収を週2回にしてほしい。家の中でプラスチックごみが増えて、特に夏場は家中がおい等により不衛生だ。
- ・プラスチックは軽いことが多く、風の強い日など飛んでしまうことがある。できれば全戸にネットなど配付してくれると助かる。
- ・生ごみと別にした分、それぞれが省ごみ化されたのでやって良かったと感じた。
- ・広報紙でプラスチック資源として出せる汚れ具合について、写真付きの説明を読んだ。それまで不安だった分別が少し明確になったが、やはり悩みながら分別している状況なので、また特集等をしてほしい。
- ・燃やすごみの大半がプラスチックだったことがわかって驚いている。有効活用されるのであれば分別は良いと思う。回収後、どのように活用されているのかがわかると、より分別の意識は高まるのではないか。
- ・プラスチックと金属類が一緒になっているものの分別が手間なので、次回から買わないようしている。
- ・分別回収が始まると聞いた時には面倒だと思ったが、もう完全に慣れた。
- ・回収された後どうなっているのか、違うものが間違って混ざってしまった時はどうなっているのかなど知りたい。
- ・頻繁にごみを捨てることができないためごみ袋も1つ増え、非常に過ごしづらくなった。
- ・まだルールがあまり理解できておらず、出す時に迷っている。ごみの分別ルールに関しては、チラシで何度か周知してほしい。

- ・最初は何をどこまでやれば良いのかわからなかつたが、徐々に慣れてきた。広報紙などで、プラスチック分別したことによる効果を少しでも知らせてもらえると、より意義を感じられるかと思う。
- ・燃えるごみを減らせるようになったこと、環境に対する取り組みをできている点がとても良いと思う。小さな子供もこのような取り組みを通して環境について学ぶ機会ができ、有意義だと考えている。
- ・プラスチック分別回収で生ごみの少なさに驚いている。また、生ごみのカラス被害が少なくなったように思う。
- ・まだまだ知らない、わからない人がいると思うので、新聞やチラシ、掲示物などでお知らせして、誰もがわかる分別回収にしてほしい。
- ・いつも食品の包装を捨てるときに罪悪感があったので、ごみ削減に協力できることがとても嬉しい。どこまで汚れがついていてもOKか、わかりやすく例示してもらえたと嬉しい。
- ・いつでも出せる回収場所も設置してほしい。少量しか出ないが、週1回の回収を待つ必要がある時が多い。
- ・プラスチックごみが少ない場合、ごみに気付いてもらえず収集してもらえたことが何度かあった。
- ・非常に良い取り組みだと思う。環境意識の高い台東区民が増えることを切に願う。一人暮らし世代は、まだ分別ルールが浸透していないようだ。
- ・厳密性の程度、許容範囲を知りたい。マヨネーズ、ヨーグルトなど、洗うことが困難なものもあり、燃えるごみとして捨てて良いもの・プラスチックとして回収すべきもの、家庭に寄り添った具体例があるとわかりやすい。
- ・どこまで汚れているものを出しても良いか毎回悩む。ごま油やマヨネーズを綺麗にするには限界がある。ラップもプラスチックで良いのか※。
- ・プラスチックの再生は分別から人の手がかかり、結局はコストがかかり、再生するための燃料費など意味がない気がしてならない。

※ラップは、汚れが落ちないものは燃やすごみとして、汚れがないものか簡単に落とせるものは、プラスチックとして出してください。

【都市交流について】

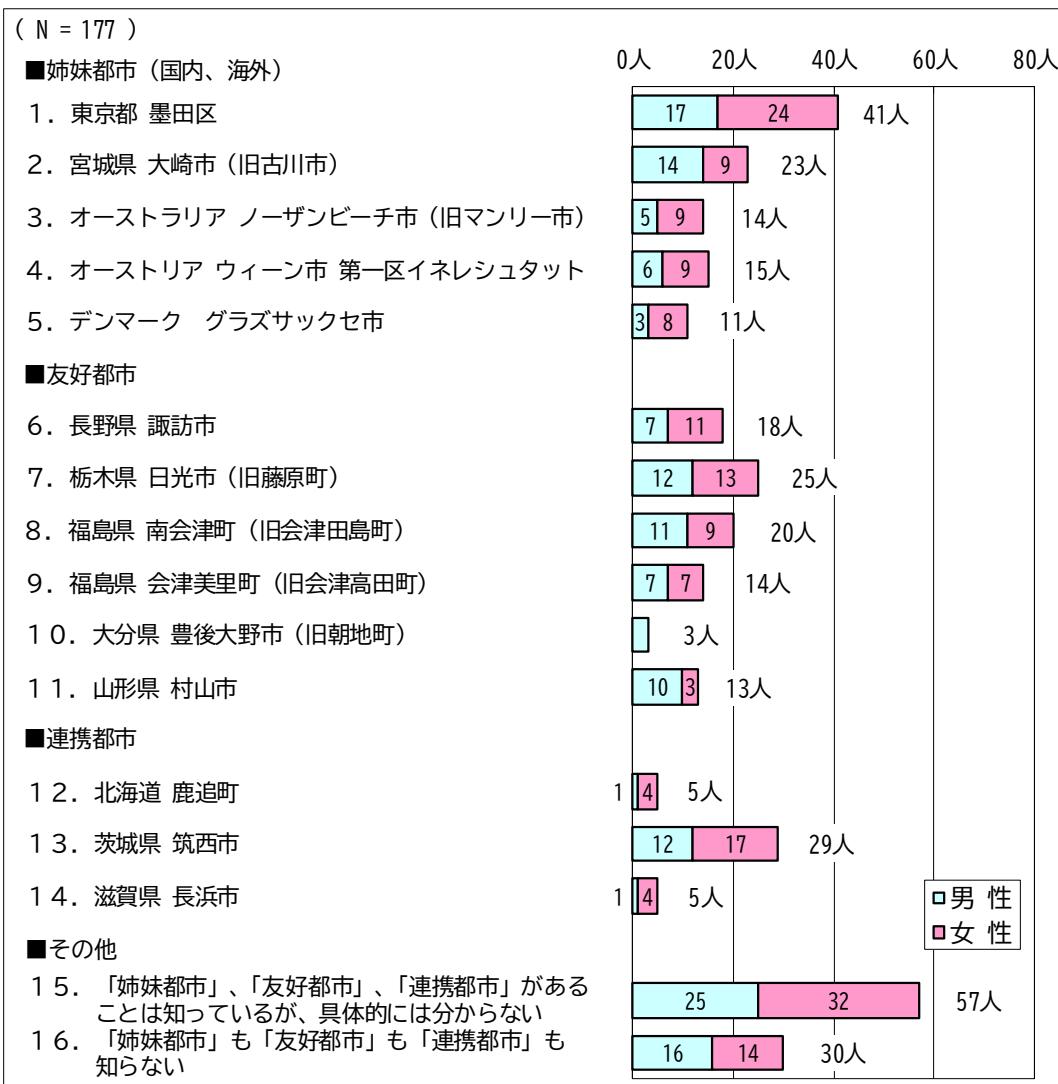
今回の調査では、7割の方が都市交流に「関心がある」、6割以上の方が「必要である」と回答しています。また、具体的な交流の取り組みでは、「小中学校での交流を増やす」、国内の「姉妹・友好都市等で実施している事業やツアーに、区民が参加できる機会をつくる」ことが必要だと思う区民の方が多いことから、区民が交流に関われる機会を創出するなど、交流をより身近に感じる取り組みが必要であることがわかりました。

今後も、調査結果を参考に、国内外の都市との連携を深め、様々な分野における区民主体の交流がさらに推進されるよう、効果的な事業を展開してまいります。

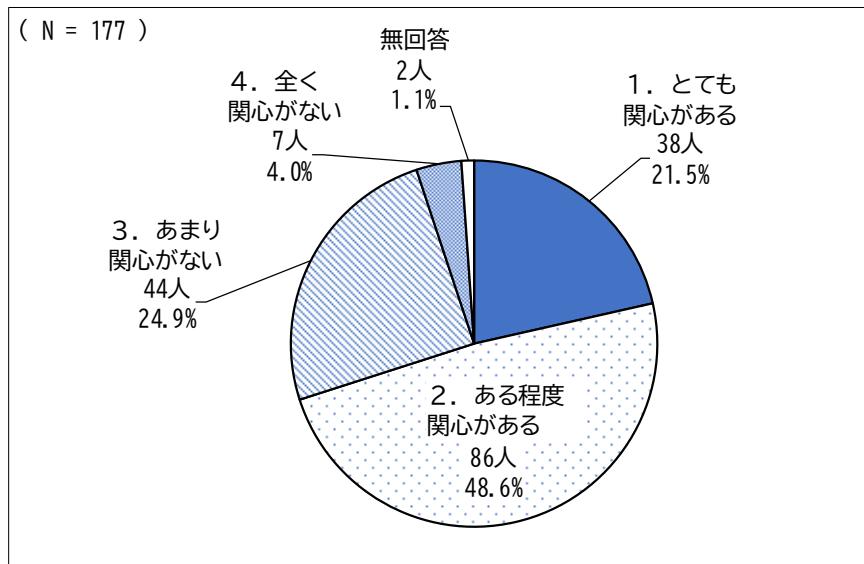
(国際・都市交流推進室 都市交流課)

設問12: 区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。

あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。(複数回答可)

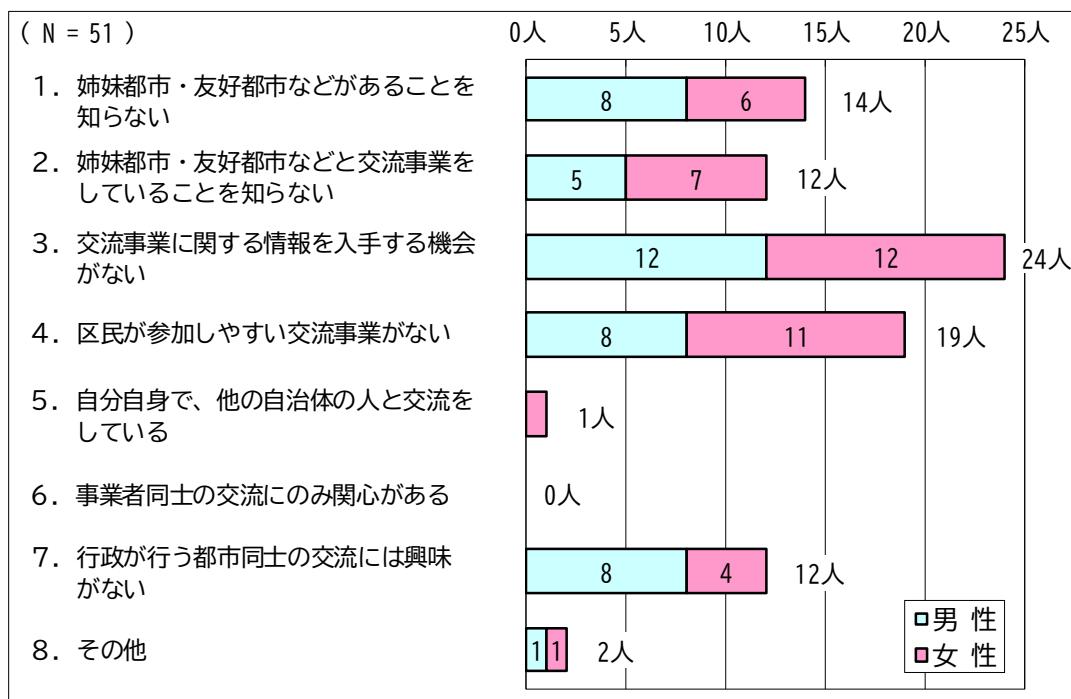


設問13：区は姉妹・友好都市、連携都市と文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流を行っています。このような交流に关心はありますか。

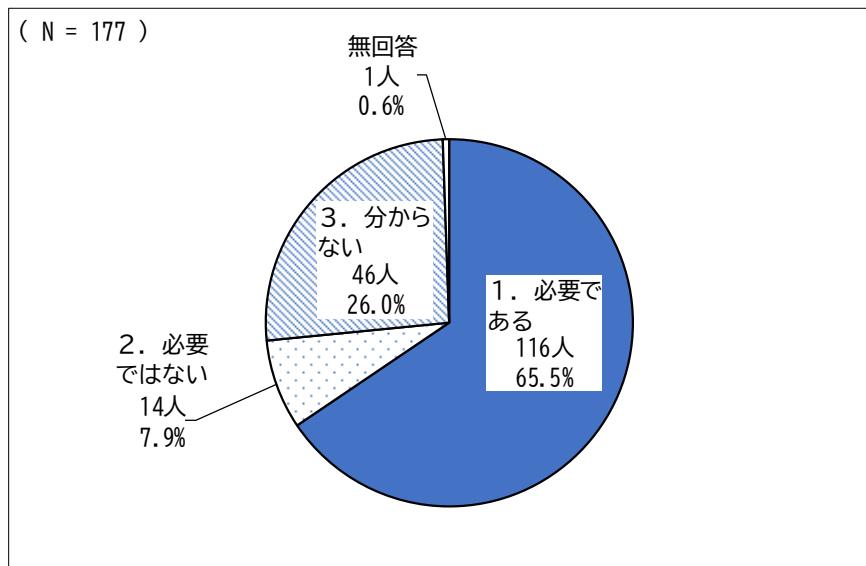


設問14：設問13で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。

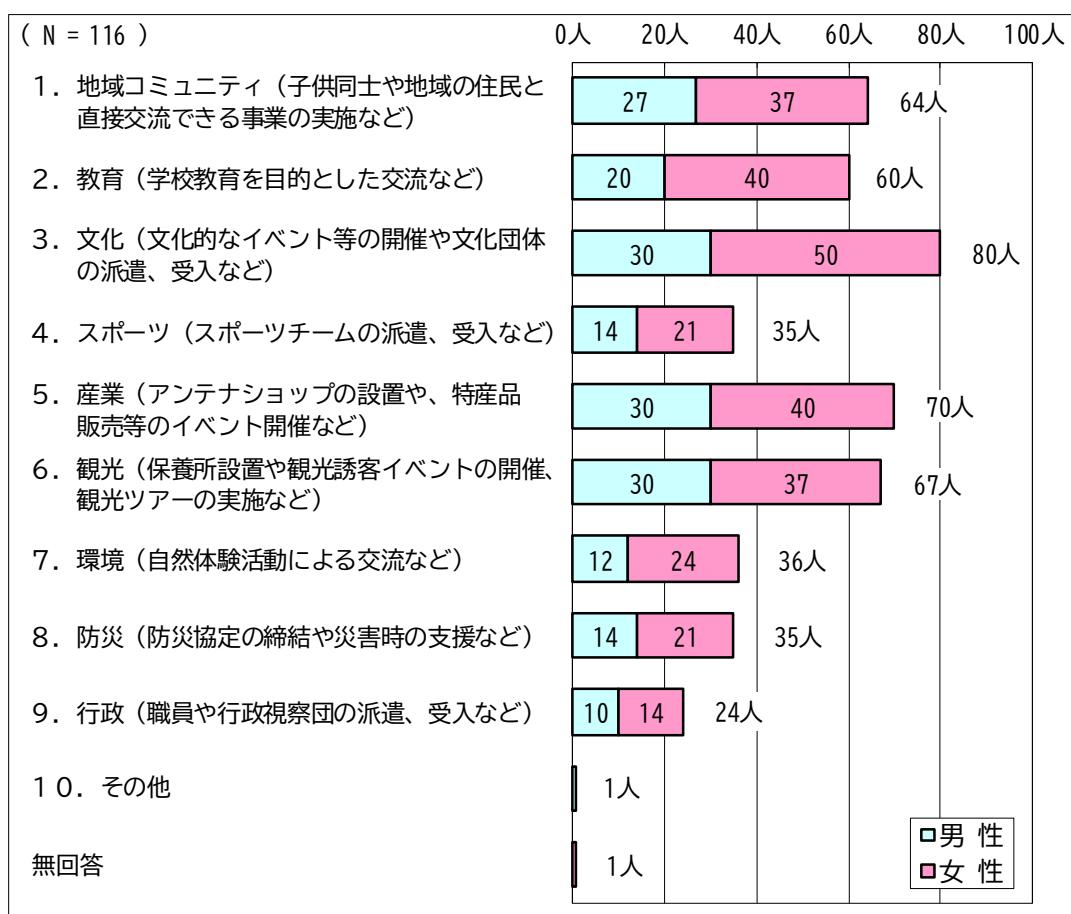
その主な理由は何ですか。（複数回答可）



設問15：姉妹・友好都市、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いますか。

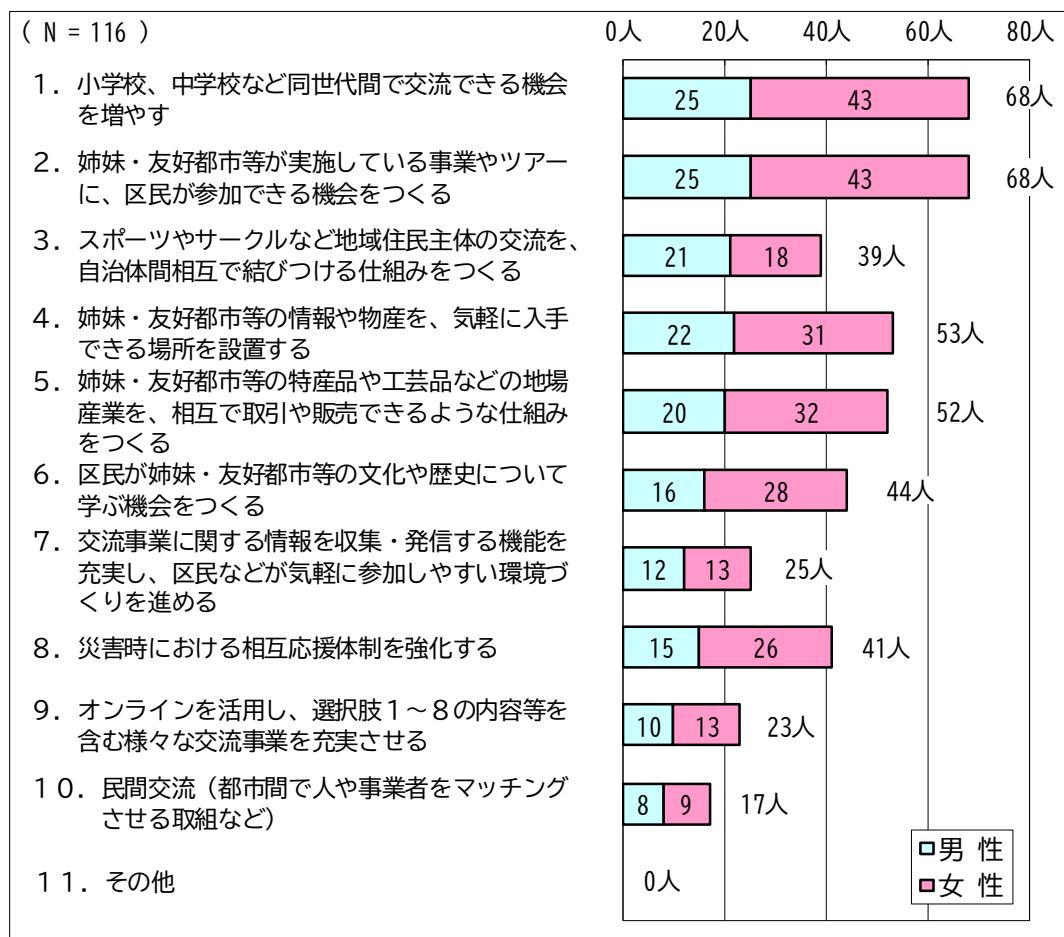


**設問16：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）**



設問17：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。

国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)



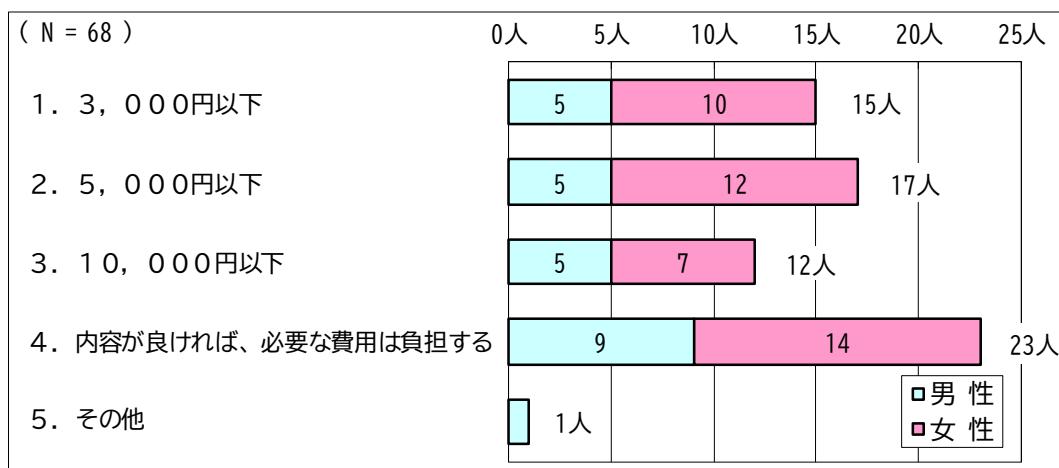
設問18：設問17で選択肢2「姉妹・友好都市等が実施している事業やツアーニ、区民が参加できる機会をつくる」を選択した方にお伺いします。

ツアーニの参加費について、交通費や宿泊代とは別(※)に、1日あたりいくらまでなら負担しても良いと思いますか。

(※) 交通費（現地最寄り駅まで）や宿泊代以外に必要な主な費用

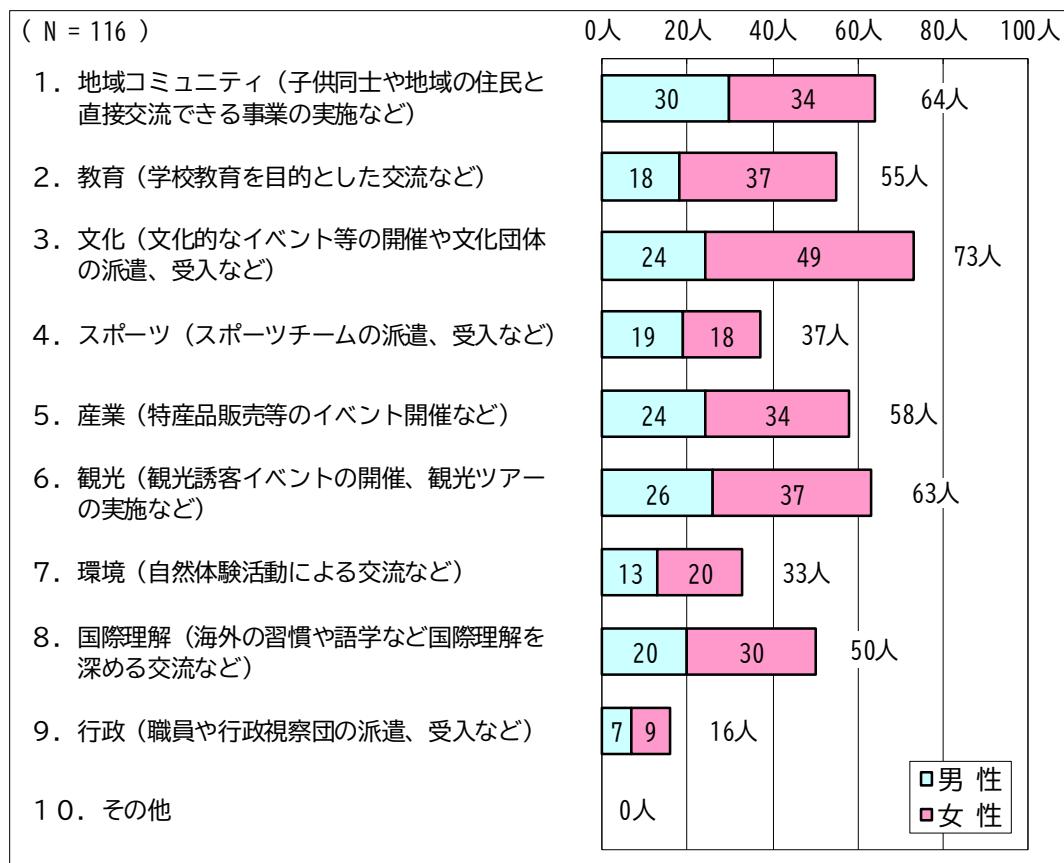
・体験、入館料 ・現地での移動経費（バスなど）・食事・保険 等

※お土産や飲み物など個人的に必要な費用は除きます。



設問19：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。

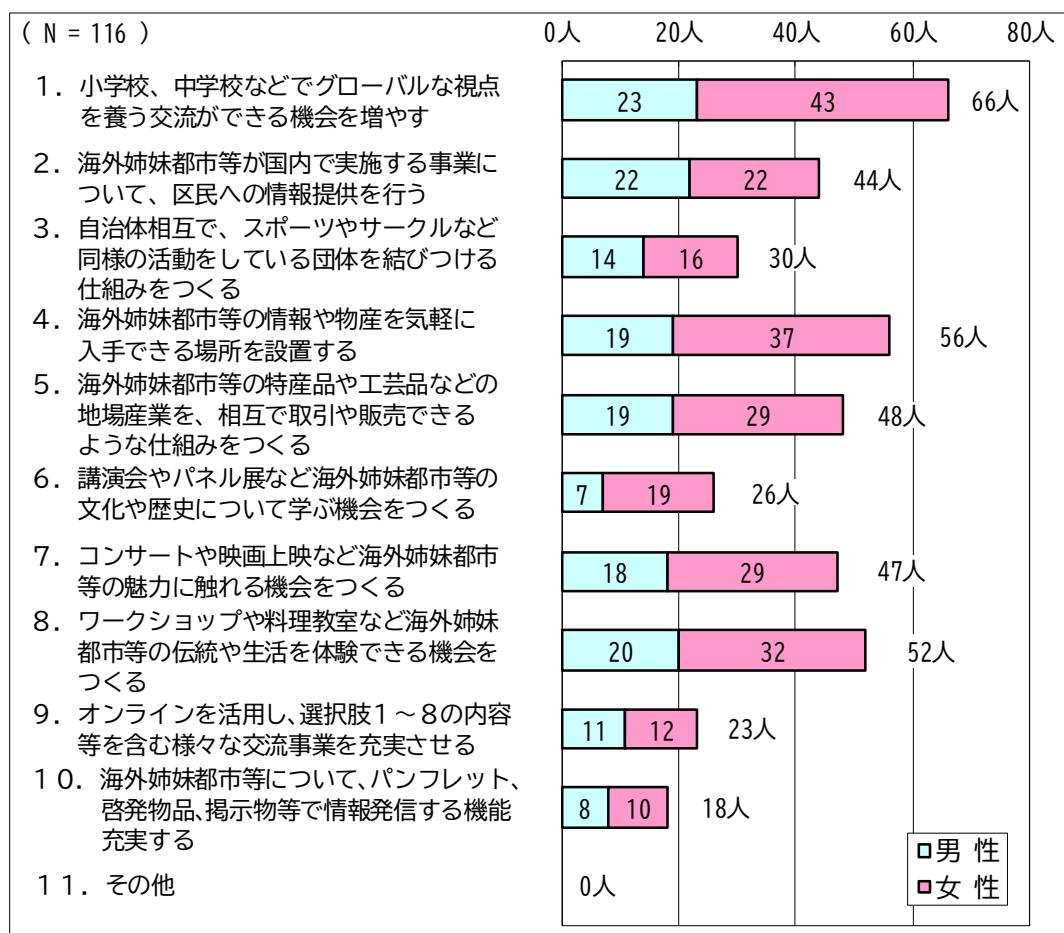
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問20：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。

海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(複数回答可)



設問21：都市交流について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・環境の違う地域や国の文化や活動に触れて、視野が広がると良いと思う。食文化やスポーツなどは触れ合いやすいと思う。
- ・子供が通う小学校から都市交流の茨城県の梨をもらって帰ってきた。子供たちはとても嬉しそうで、このことをきっかけに都市交流があることを知った。
- ・都市交流をしていることを知らなかつたため、都市交流をすることになった経緯や現状の活動内容などを発信する場があると良い。
- ・お互いに観光や物産、工芸について、行き来できる交流や台東区に招待して、町や国の魅力を発信して交流を深めると良い。
- ・物産展など開催していることは知っているが、他は詳しく知らなかつた。いろいろな都市との交流によってお互いの良いところを知り、取り入れ、より住みやすい街になることは良いことだと思う。
- ・都市交流で知らない国や地域をたくさん知りたい。しかし、そもそも具体的にどういう理由で姉妹・友好都市、連携都市になったのかなどの経緯がわからないので、説明してほしい。
- ・交流都市が多く覚えられないので、広報紙に毎月情報の掲載や、HPでの興味が持てる情報発信、特産品ツアーやイベント、無料の交流の場の提供、交流のためのボランティア活動の推進など、積極的にしてほしい。
- ・隅田公園に姉妹都市から送られた木があることに、10年近く側に住んで先日初めて気付いた。区の予算も使って植えられていると思うので、もっとアピールしてほしい。
- ・具体的にどのような取り組みがあるのか知らない。広報紙などでの告知やイベントの実施を行ってほしい。ワーケーションや農業体験など、現地での都市交流にも興味がある。
- ・都市交流先での食べ物、飲み物に興味があるので、いろいろ紹介してもらい購入できたら良い。
- ・まずは安全安心なまち作りの観点から、防災に関する相互協力体制作りが重要だと思う。

- ・子供がいるので、中学生海外短期留学派遣事業は知っている。会津へは家族で宿泊したことがある。日常生活の中で触れる機会がないと、都市交流で何をしているのかはわかりづらい。
- ・国内外の地域・自治体と連携する意義はわかるが、特定の都市とだけ長期的に関係を持つことで何が得られるのかわからない。また、どのようなプロセスで都市が選ばれたのか不明瞭で、地域的な偏りがあるように感じる。
- ・小学校で筑西市の梨をいただいている。茨城県産というよりももっと身近な気持ちがして、「地域について調べてみよう」とか「機会があれば行ってみよう」とか思うので良い。
- ・千束通り商店街でオーストリアの物産を購入したことがある。興味を持つきっかけになった。
- ・台東区はものづくりの町でもあるので、都市交流の一つとしてものづくりの商品を姉妹都市と取引できる仕組みを作るなどはどうか。
- ・各個人にも自治体にもお金がかかるので、できる範囲で考える必要がある。
- ・オンラインでの交流がスムーズにできるようになってきた現在、直接海外に行くことが難しい子供や家庭が外の世界に触れる機会を作りやすくなっていると思う。
- ・海外に姉妹都市があるとは知らなかった。感受性が豊かな子供のうちに異なる文化やバックグラウンドを持つ同世代の子供と交流できれば非常に刺激になると思う。
- ・現地の人との交流をしたい（例えばオーストラリアの人との会話、売買など）。
- ・浅草（千束通り）には友好・連携都市の特産品販売の店があり、各地の特産品が買えるので楽しみである。
- ・上野や浅草など観光資源を活かし、地域振興を進め、子供が誇れるまちにするため国内外と交流し、地域の魅力を実感できる取組を望む。
- ・ぜひ交流が体験できる機会や企画を開催してほしい。
- ・修学旅行先として選択できるようにするなどでも良い。

【災害対策について】

今回は、災害時の備蓄、共助と、前回調査（令和5年度）から継続している荒川氾濫時の広域避難についてお聞きしました。災害時の食料の備蓄日数については、令和5年度の調査では、3日以上の備蓄をしている割合が7割半ばだったのに対し、今回の調査では6割半ばとやや減少していることがわかりました。また、停電や断水時、在宅避難を継続するために必要となるスマートフォン用蓄電池や給水袋の備蓄も5割に満たないことがわかりました。

共助については、9割近くの方が地域での助け合いに協力する意向を示していました。一方で、防災団や災害ボランティアなど、活動の取り組みや制度の認知度が低いことがわかりました。

また、荒川氾濫時には友人宅や親戚宅などを避難先とする方が増えており、自助の取り組みが進んでいることがわかりました。

調査結果をもとに、区民の皆様の意識啓発、さらには防災行動を促せるように、防災に関する、様々な情報提供を一層充実させてまいります。

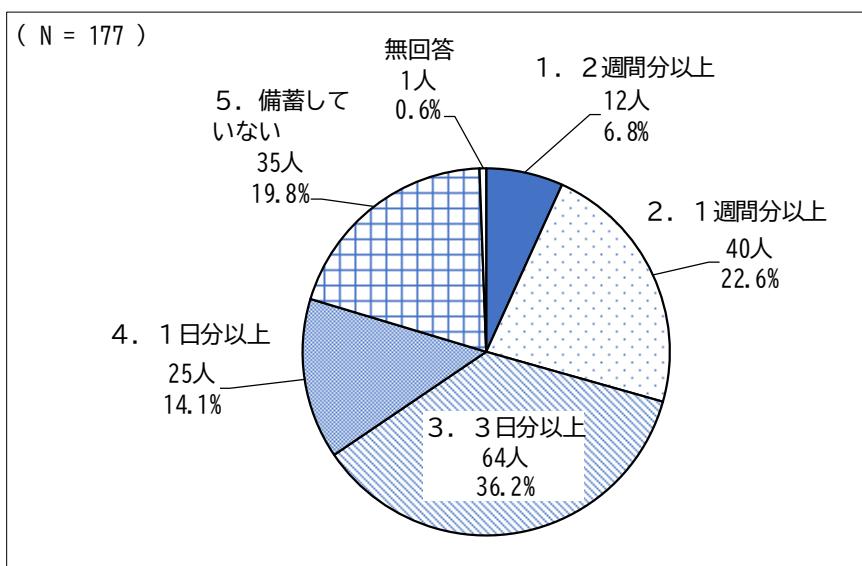
（危機管理室 危機・災害対策課）

設問22：在宅避難には、災害に備えた食料等の備蓄が必要ですが、どの程度の日数分の食料を備蓄していますか。

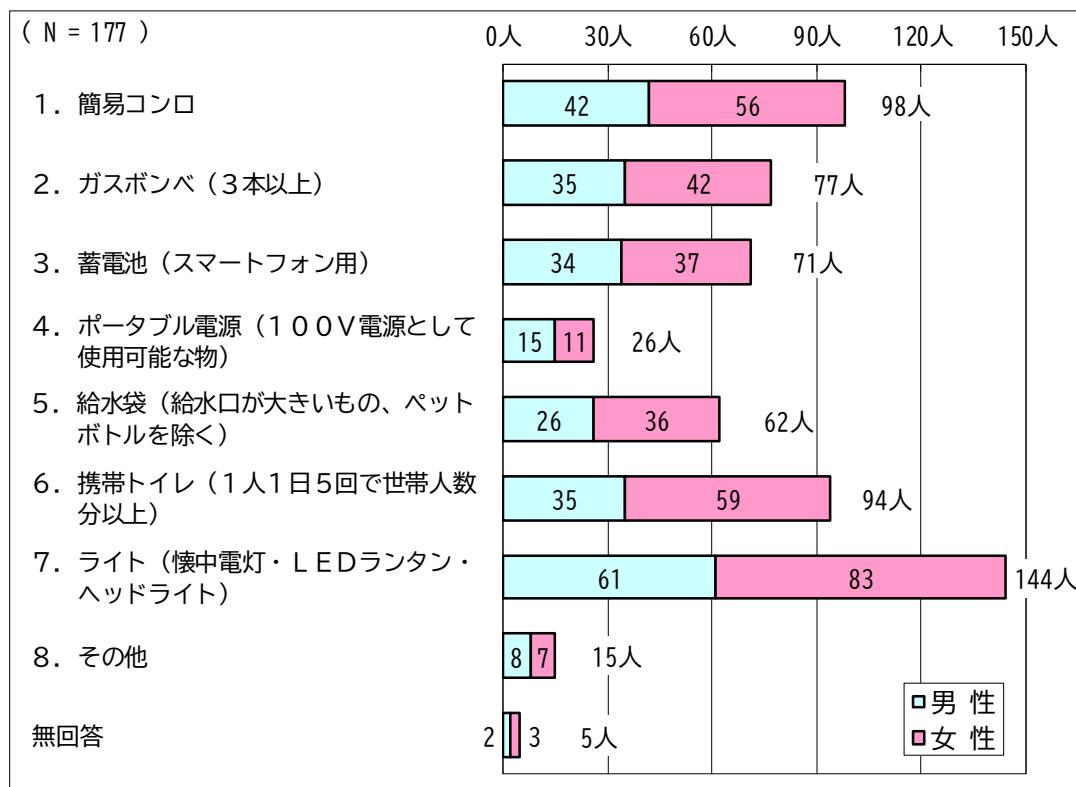
簡易コンロ・ポンベをお持ちの方は、冷蔵・冷凍庫にある食料や乾麺等も備蓄している食料の対象としてください。避難所の応急給水栓、または町会によるスタンダードパイプ（※）からの給水が可能とします。

（※）スタンダードパイプ

道路にある地下式消火栓と接続し、消火活動や給水を行う機材。

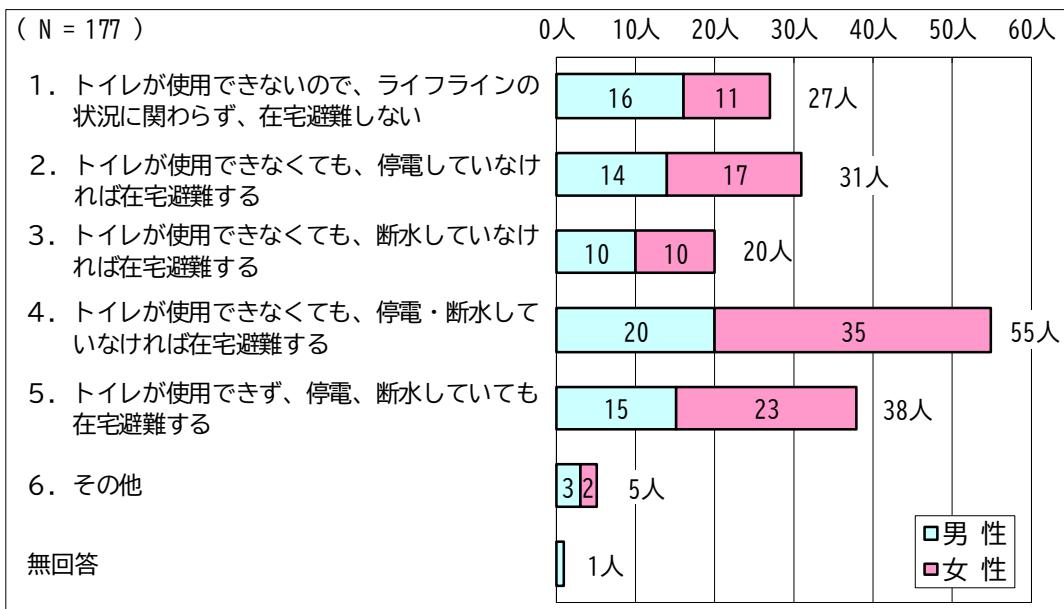


設問23：在宅避難には、食料・水以外の資機材・備蓄品も必要となります。備蓄している物品は何ですか。（複数回答可）

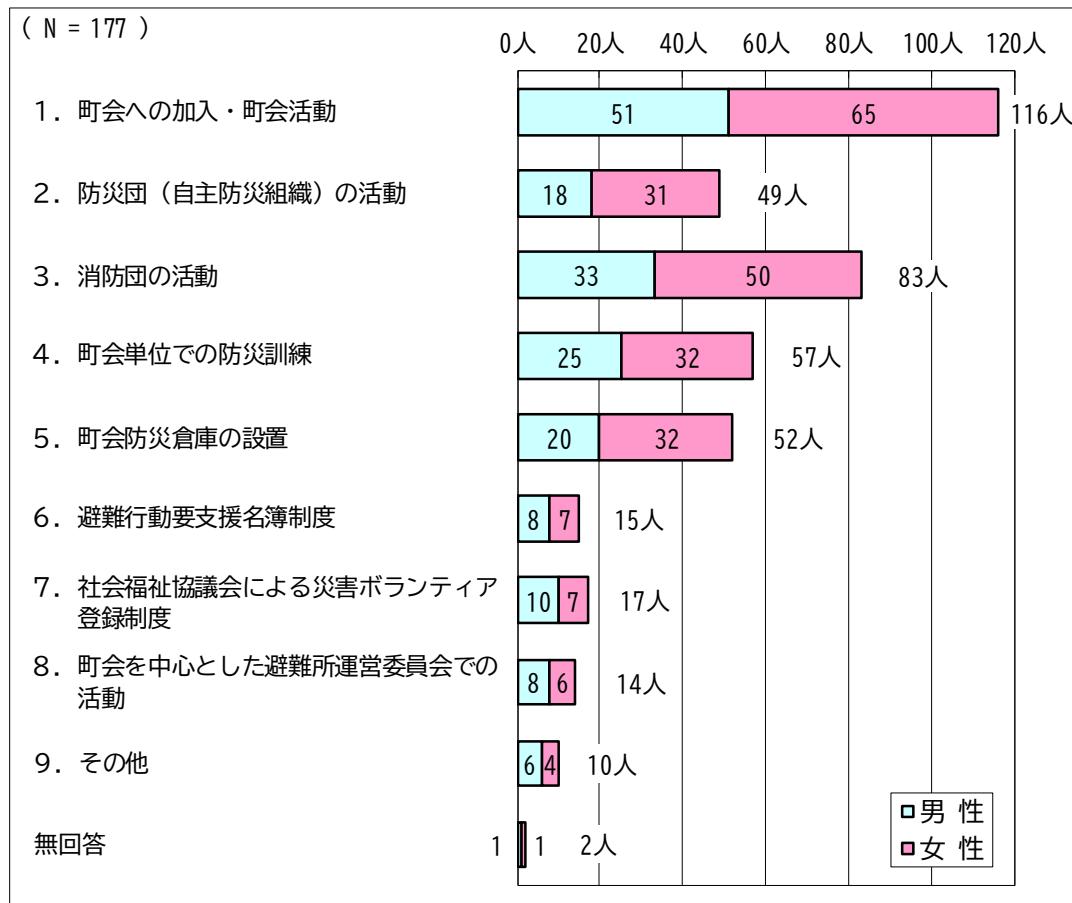


設問24：大規模な地震が発生し、自宅は被害はなく、安全ですが、排水管の損傷が確認できなかったため、トイレは使用できません。なお、避難所等に行けば、給水栓による給水が受けられます。

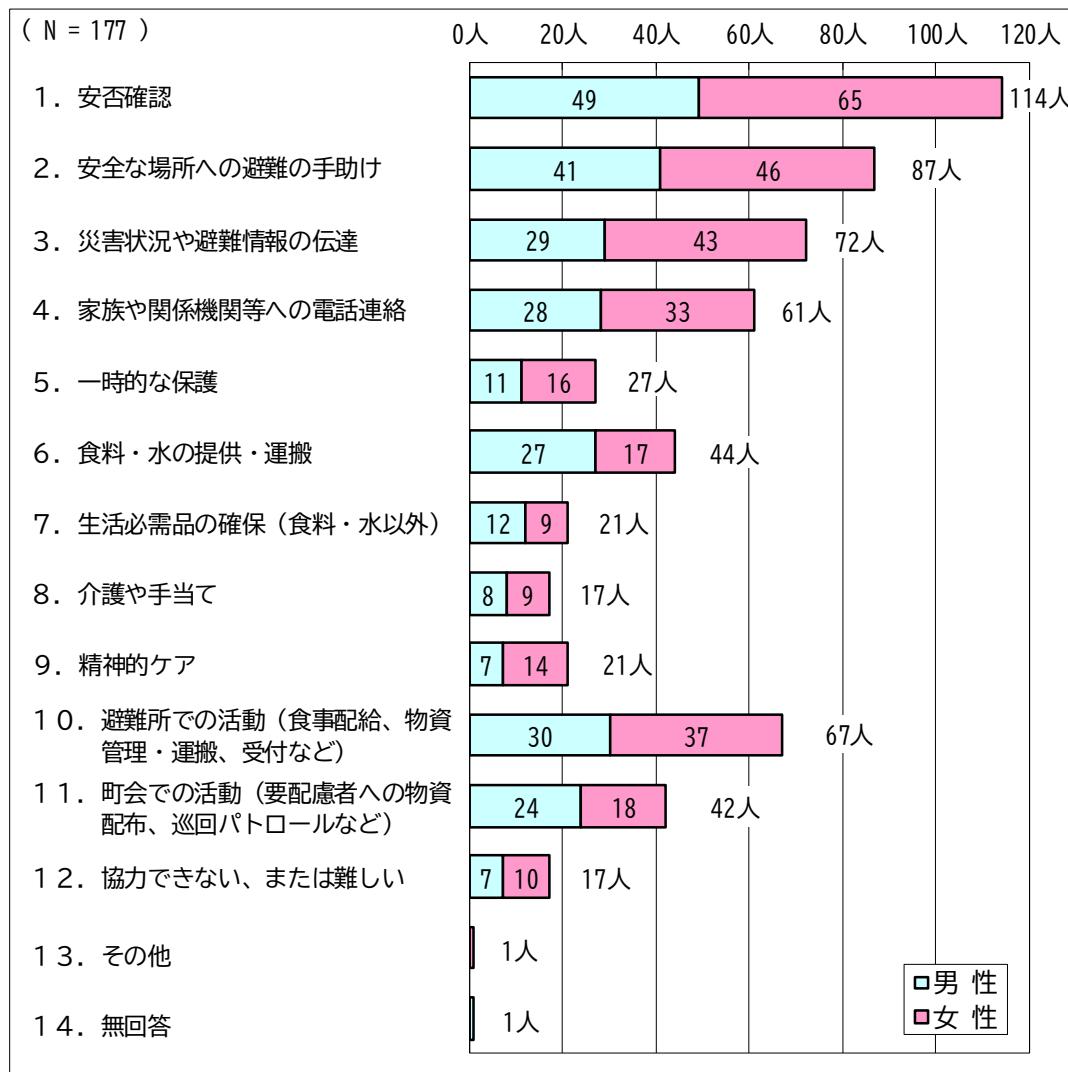
この状況で停電、断水が発生している場合、あなたはどのような避難方法をとりますか。



設問25：区では、災害に備え、共助についての施策や町会活動等への支援等を行っています。あなたは、どのような取り組みや制度を知っていますか。（複数回答可）

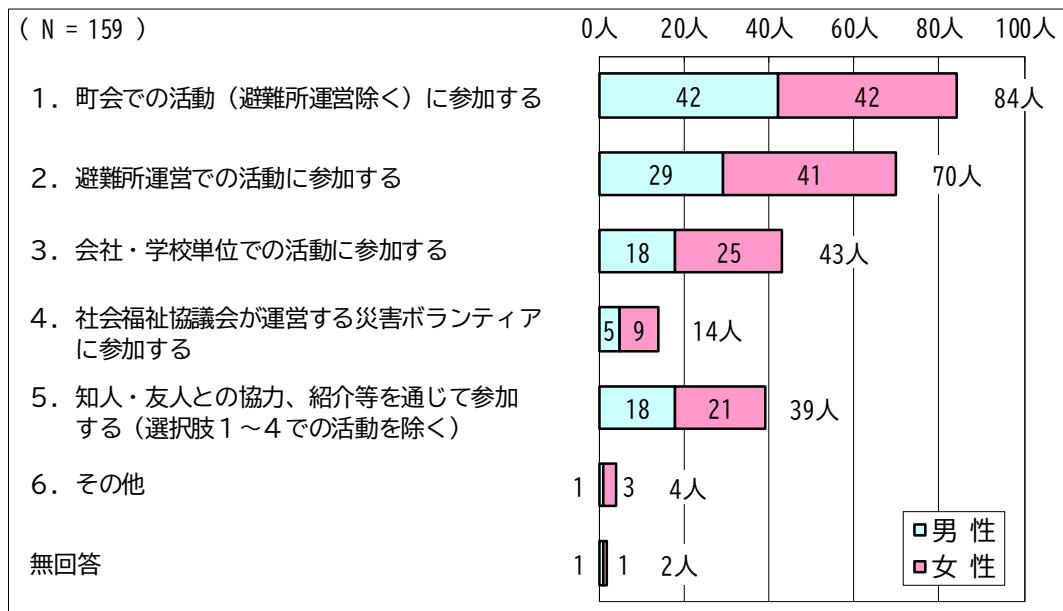


設問26：大地震などの災害が起こったときに、あなたは近隣に住む家族以外のために、どのような助け合いや協力ができますか。あてはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)



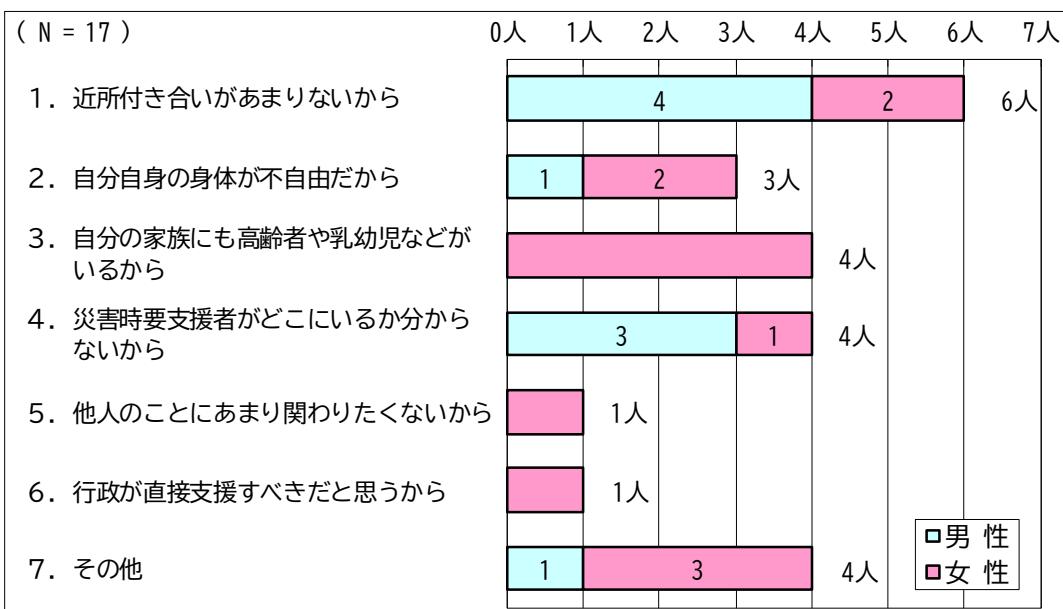
設問27：設問26で選択肢1～11、13を選択した方にお伺いします。

活動する場合、どのような活動拠点で参加したいと思いますか。（複数回答可）



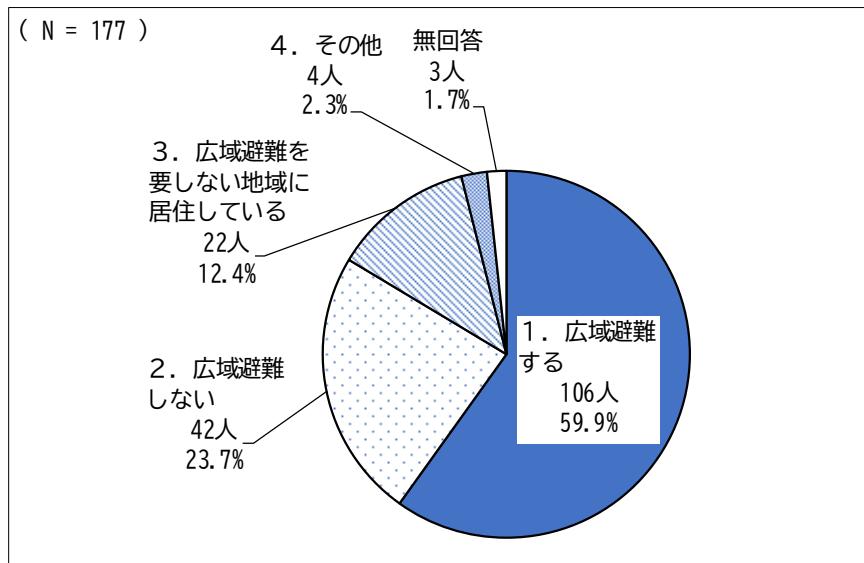
設問28：設問26で選択肢12「協力できない、または難しい」を選択した方にお伺いします。

その理由は何ですか。（複数回答可）

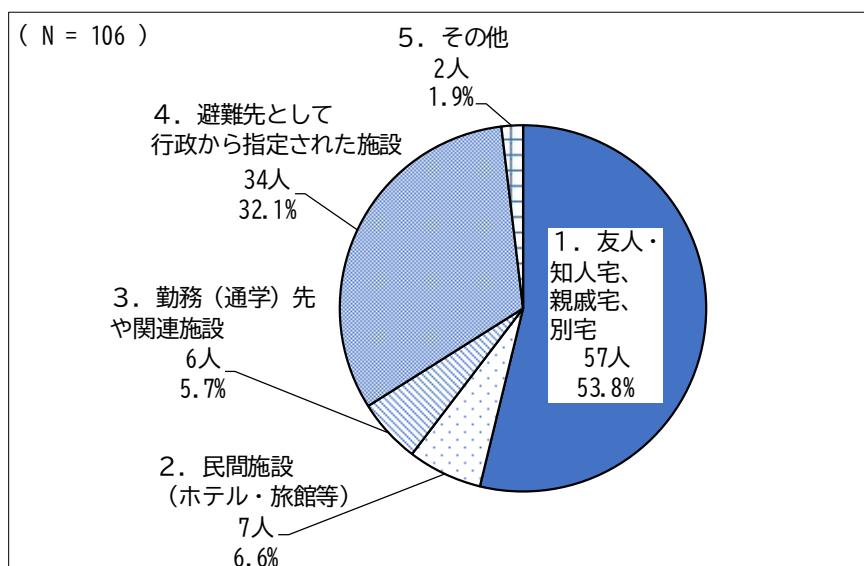


設問29：荒川が氾濫した場合、区内の多くが浸水エリアになり、2週間以上水につかることが想定されるため、区は広域避難（※）を促します。あなたは、荒川氾濫など大規模水害時に、広域避難をしますか。

(※) 広域避難
浸水しない安全な区域へ避難すること。

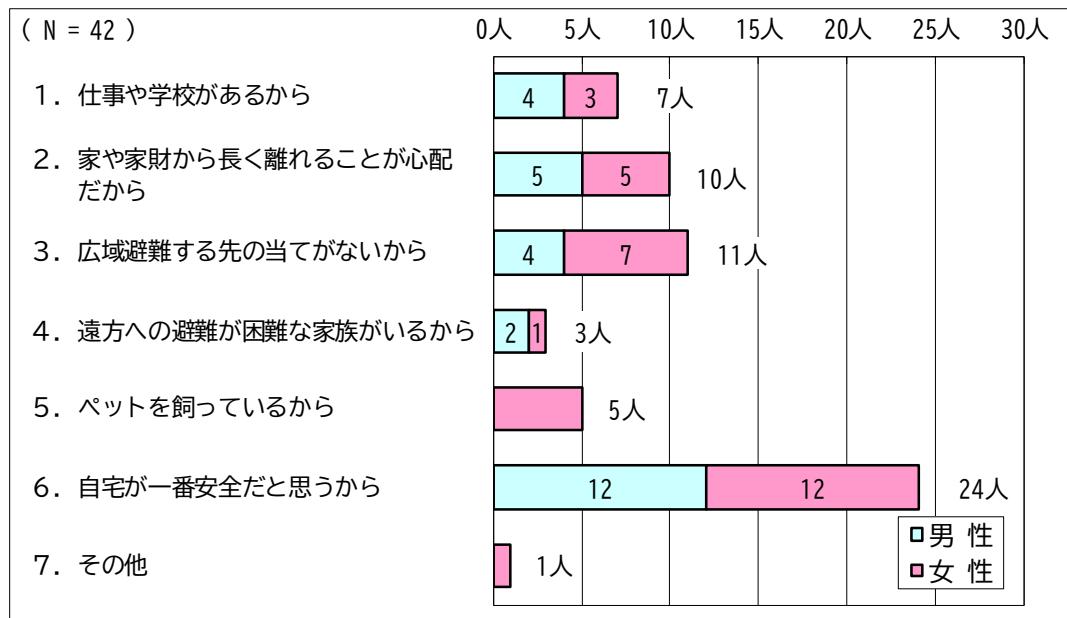


設問30：設問29で選択肢1「広域避難をする」を選択した方にお伺いします。
どこに避難をしますか。



設問31：設問29で選択肢2「広域避難をしない」を選択した方にお伺いします。

その理由は何ですか。（複数選択可）



設問32：今後の災害対策について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ハザードマップ等を区役所等に準備するだけでなく、町内、マンション等で積極的に講習会等を開催したほうが良い。もっと東京都、消防署等と連携を深めてはどうか。
- ・避難所運営委員会に携わっているが、もっと多くの人たちに避難所開設訓練を体験したり、関わろうと思う気持ちを持ってもらうために、区で啓発活動を積極的にやってほしい。
- ・災害時にトイレが使えないことだけは怖いので準備をしているが、区からも簡易トイレを配布して、自己準備も必要だということをもっと認識させたほうが良いと思う。
- ・もちろん自己での災害対策をすることが大前提であるが、町内会に入らない世帯も増えている中、町内会に頼らない災害対策も検討してほしいと感じる。
- ・児童館での災害対策イベントに参加しようとは思うが、赤ちゃん連れでの避難や必要な備蓄の知識がないので、そういう情報に簡単にアクセスできる対策がほしい。
- ・子供がまだ小さいので離乳食のローリングストックはしているが、長期間になった場合不安が残る。区としての対応が気になる。
- ・避難所において、どの程度プライバシーの確保ができるのか不明（特に女性や子供）。避難時のイメージがほとんどつかないことが不安なため、区でどのような準備をしているかを知りたい。
- ・ガスコンロ等は用意をしていなかった。どんなものが必要か今一度案内を出してほしい。
- ・地域の連携がないことに不安を感じている。災害があった際、どういった情報リレーが行われるのか（消防団や防災団など？）、どこで情報を得られるのか、防災バッグに入るA3で1枚くらいのマップがあつたら嬉しい。
- ・太平洋側での巨大地震の発生を前提とした準備を始めているが、備蓄すべき品の必要度など、優先順位がある程度示されると用意しやすいのではないかと感じている。
- ・町会役員をやっている。町会は町民を守るという理解でいるが、観光客や帰宅困難者への対応は東京都が行うという方針が広く認知されていないので、もっと東京都の責任を広く広報してほしい。

- ・現状では災害訓練の実施が単発的である。長期計画的な実施を期待したい（3～5年に一度住民直接参加の訓練）。やり方は危機・災害対策課を中心とし、広域町会に機能を持たせた住民参加と、主要マンションに機能を持たせた住人参加が良い。
- ・まだ自分の身に起こっていないので実感がわからないが、テレビで見るような環境が悪い避難所で寝泊まりするのは大変そう。できるだけ自宅待機としたい。
- ・それぞれの町会で防災に対する意識が強いところと、そうでないところがあるように思える。
- ・災害時のペットの避難も大切なことだと思う。そのための区としての対応も明確にしてほしい。
- ・区で実施されている防災対策について、情報を発信してくれると見る。特にLINEは即日確認できるので、有効活用してほしい。
- ・親族が町の消防団員のわりには我が家の中備蓄品の数が少なく、考えさせられた。トイレ、食料品、水等。台東区に60年住んでいるが、今のところ大きな災害もなく、住みやすい町である。
- ・災害対策を何もしていない自分だとよくわかった。これからはちゃんと対策をしなければいけないと思った。
- ・あまり災害対策をしていなかったり、災害に対する意識が低かったりするので、災害に対する取り組みを増やしていくたほうが良いと思う。
- ・水が染み込むアスファルトがあるらしいので、それに変えると洪水対策になって良いと思う。

II アンケート質問と回答

【プラスチック分別回収について】

設問1： 区では、プラスチック分別回収を令和7年4月から区内全域で実施していますが、実際にやつてみてどのように感じましたか。

1. 簡単	42人	23.7%
2. やや簡単	48人	27.1%
3. やや難しい	45人	25.4%
4. 難しい	23人	13.0%
5. 分別していない	11人	6.2%
6. 知らなかった	8人	4.5%
全体	177人	100.0%

設問2： 設問1で選択肢1～4を選択した方にお伺いします。

プラスチックを分別することで、良かったと思う点は何ですか。 (複数回答可)

1. 資源を有効活用できた点	103人	65.2%
2. ごみを減量できた点	49人	31.0%
3. ごみの保管管理が容易になった点	14人	8.9%
4. 環境教育に役立つ点	51人	32.3%
5. 特になし	31人	19.6%
6. その他	3人	1.9%
全体	251人	

設問3： 設問1で選択肢5「分別していない」を選択した方にお伺いします。

プラスチックを分別していない理由は何ですか。 (複数回答可)

1. 分けるのが面倒	7人	63.6%
2. 分ける品目が分からない	6人	54.5%
3. きれいにするのが面倒	6人	54.5%
4. 保管場所がない	1人	9.1%
5. その他	0人	0.0%
全体	20人	

設問4： 実際にプラスチック分別をした際、迷った品目は何ですか。分別をしていない方は、分別するにあたり迷うと思われる品目は何ですか。 (複数回答可)

1. 袋類（菓子袋・パン袋・レジ袋など）	55人	31.1%
2. パック類（卵、豆腐、持ち帰り弁当などの容器）	52人	29.4%
3. トレイ・カップ類（魚トレイ、カップ類、ゼリーなどの容器）	48人	27.1%
4. ボトル類（シャンプー、リンス、洗剤などの容器）	64人	36.2%
5. キャップ・ラベル類（ペットボトルのふたやラベルなど）	43人	24.3%
6. チューブ類（マヨネーズやはみがき粉などのチューブ容器）	85人	48.0%
7. 発砲スチロール・緩衝材（梱包材や箱物容器など）	58人	32.8%
8. その他	18人	10.2%
無回答	3人	1.7%
全体	426人	

設問5： 実際にプラスチック分別をした際、分別方法をどのように確認しましたか。分別をしていない方は、どのような手段で分別方法を確認すると思いますか。（複数回答可）

1. 区公式ホームページ	58人	32.8%
2. 広報紙・チラシ等、区の印刷物	122人	68.9%
3. 区に電話	0人	0.0%
4. 知人からの情報	16人	9.0%
5. 保管場所掲示板	24人	13.6%
6. 確認していない	9人	5.1%
7. その他	5人	2.8%
全体	234人	

設問6： 実際にプラスチック分別をしてみて、困ったことはありましたか。分別をしていない方は、どのようなことが困ると思いますか。（複数回答可）

1. 分別が難しい	64人	36.2%
2. 保管場所の確保が難しい	79人	44.6%
3. 資源と出す場所が別で面倒	28人	15.8%
4. 特になし	46人	26.0%
5. その他	11人	6.2%
無回答	1人	0.6%
全体	229人	

設問7： 台東区では、ごみの「燃やすごみ」「燃やさないごみ」と「プラスチック」は建物の前に出す戸別回収をしていますが、どのような回収方法がよいと思いますか。

1. 現在のまま、戸別回収がよい	86人	48.6%
2. 集積所での回収がよい	19人	10.7%
3. 集合住宅のため、所定の回収場所に出している	71人	40.1%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問8： 台東区では、資源の「古紙」「びん」「缶」「ペットボトル」は集積所で回収していますが、どのような回収方法がよいと思いますか。

1. 現在のまま、集積所での回収がよい	92人	52.0%
2. 戸別回収がよい	14人	7.9%
3. 集合住宅のため、所定の回収場所に出している	71人	40.1%
全体	177人	100.0%

設問9： 現在、「プラスチック」は週1回資源回収の日に回収していますが、適切だと思う回収頻度はどのくらいですか。

1. 週1回	109人	61.6%
2. 週2回	65人	36.7%
3. 月1回	1人	0.6%
4. 月2回	1人	0.6%
5. その他	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問10：プラスチック分別回収について、どのようなことに興味がありますか。（複数回答可）

1. プラスチック削減方法	71人	40.1%
2. 回収実績	58人	32.8%
3. リサイクルの流れ	105人	59.3%
4. 特になし	32人	18.1%
5. その他	3人	1.7%
全体	269人	

設問11：プラスチック分別回収について、ご意見がありましたらご記入ください。

【都市交流について】

設問12：区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。

あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。（複数回答可）

■姉妹都市（国内、海外）

1. 東京都 墨田区	41人	23.2%
2. 宮城県 大崎市（旧古川市）	23人	13.0%
3. オーストラリア ノーザンビーチ市（旧マンリー市）	14人	7.9%
4. オーストリア ウィーン市 第一区イネレシュタット	15人	8.5%
5. デンマーク グラズサックセ市	11人	6.2%

■友好都市

6. 長野県 諏訪市	18人	10.2%
7. 栃木県 日光市（旧藤原町）	25人	14.1%
8. 福島県 南会津町（旧会津田島町）	20人	11.3%
9. 福島県 会津美里町（旧会津高田町）	14人	7.9%
10. 大分県 豊後大野市（旧朝地町）	3人	1.7%
11. 山形県 村山市	13人	7.3%

■連携都市

12. 北海道 鹿追町	5人	2.8%
13. 茨城県 筑西市	29人	16.4%
14. 滋賀県 長浜市	5人	2.8%

■その他

15. 「姉妹都市」、「友好都市」、「連携都市」があることは知っているが、具体的には分からぬ	57人	32.2%
16. 「姉妹都市」も「友好都市」も「連携都市」も知らない	30人	16.9%
全体	323人	

設問13：区は姉妹・友好都市、連携都市と文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流を行っています。このような交流に関心はありますか。

1. とても関心がある	38人	21.5%
2. ある程度関心がある	86人	48.6%
3. あまり関心がない	44人	24.9%
4. 全く関心がない	7人	4.0%
無回答	2人	1.1%
全体	177人	100.0%

設問14：設問13で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。
その主な理由は何ですか。（複数回答可）

1. 姉妹都市・友好都市などがあることを知らない	14人	27.5%
2. 姉妹都市・友好都市などと交流事業をしていることを知らない	12人	23.5%
3. 交流事業に関する情報を入手する機会がない	24人	47.1%
4. 区民が参加しやすい交流事業がない	19人	37.3%
5. 自分自身で、他の自治体の人と交流をしている	1人	2.0%
6. 事業者同士の交流にのみ関心がある	0人	0.0%
7. 行政が行う都市同士の交流には興味がない	12人	23.5%
8. その他	2人	3.9%
全体	84人	

設問15：姉妹・友好都市、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いますか。

1. 必要である	116人	65.5%
2. 必要ではない	14人	7.9%
3. 分からない	46人	26.0%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問16：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 地域コミュニティ（子供同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など）	64人	55.2%
2. 教育（学校教育を目的とした交流など）	60人	51.7%
3. 文化（文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など）	80人	69.0%
4. スポーツ（スポーツチームの派遣、受入など）	35人	30.2%
5. 産業（アンテナショップの設置や、特産品販売等のイベント開催など）	70人	60.3%
6. 観光（保養所設置や観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など）	67人	57.8%
7. 環境（自然体験活動による交流など）	36人	31.0%
8. 防災（防災協定の締結や災害時の支援など）	35人	30.2%
9. 行政（職員や行政視察団の派遣、受入など）	24人	20.7%
10. その他	1人	0.9%
無回答	1人	0.9%
全体	473人	

設問17： 設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 小学校、中学校など同世代間で交流できる機会を増やす	68人	58.6%
2. 姉妹・友好都市等が実施している事業やツアーに、区民が参加できる機会をつくる	68人	58.6%
3. スポーツやサークルなど地域住民主体の交流を、自治体間相互で結びつける仕組みをつくる	39人	33.6%
4. 姉妹・友好都市等の情報や物産を、気軽に入手できる場所を設置する	53人	45.7%
5. 姉妹・友好都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	52人	44.8%
6. 区民が姉妹・友好都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	44人	37.9%
7. 交流事業に関する情報を収集・発信する機能を充実し、区民などが気軽に参加しやすい環境づくりを進める	25人	21.6%
8. 災害時における相互応援体制を強化する	41人	35.3%
9. オンラインを活用し、選択肢1～8の内容等を含む様々な交流事業を充実させる	23人	19.8%
10. 民間交流（都市間で人や事業者をマッチングさせる取組など）	17人	14.7%
11. その他	0人	0.0%
全体	430人	

設問18： 設問17で選択肢2「姉妹・友好都市等が実施している事業やツアーに、区民が参加できる機会をつくる」を選択した方にお伺いします。
ツアー等の参加費について、交通費や宿泊代とは別に、1日あたりいくらまでなら負担しても良いと思いますか。

1. 3,000円以下	15人	22.1%
2. 5,000円以下	17人	25.0%
3. 10,000円以下	12人	17.6%
4. 内容が良ければ、必要な費用は負担する	23人	33.8%
5. その他	1人	1.5%
全体	68人	100.0%

設問19： 設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 地域コミュニティ（子供同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など）	64人	55.2%
2. 教育（学校教育を目的とした交流など）	55人	47.4%
3. 文化（文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など）	73人	62.9%
4. スポーツ（スポーツチームの派遣、受入など）	37人	31.9%
5. 産業（特産品販売等のイベント開催など）	58人	50.0%
6. 観光（観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など）	63人	54.3%
7. 環境（自然体験活動による交流など）	33人	28.4%
8. 国際理解（海外の習慣や語学など国際理解を深める交流など）	50人	43.1%
9. 行政（職員や行政視察団の派遣、受入など）	16人	13.8%
10. その他	0人	0.0%
全体	449人	

設問20：設問15で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。
海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 小学校、中学校などでグローバルな視点を養う交流ができる機会を増やす	66人	56.9%
2. 海外姉妹都市等が国内で実施する事業について、区民への情報提供を行う	44人	37.9%
3. 自治体相互で、スポーツやサークルなど同様の活動をしている団体を結びつける仕組みをつくる	30人	25.9%
4. 海外姉妹都市等の情報や物産を気軽に入手できる場所を設置する	56人	48.3%
5. 海外姉妹都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	48人	41.4%
6. 講演会やパネル展など海外姉妹都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	26人	22.4%
7. コンサートや映画上映など海外姉妹都市等の魅力に触れる機会をつくる	47人	40.5%
8. ワークショップや料理教室など海外姉妹都市等の伝統や生活を体験できる機会をつくる	52人	44.8%
9. オンラインを活用し、選択肢1～8の内容等を含む様々な交流事業を充実させる	23人	19.8%
10. 海外姉妹都市等について、パンフレット、啓発物品、掲示物等で情報発信する機能を充実する	18人	15.5%
11. その他	0人	0.0%
全体	410人	

設問21：都市交流について、ご意見等がありましたらご記入ください。

【災害対策について】

設問22：在宅避難には、災害に備えた食料等の備蓄が必要ですが、どの程度の日数分の食料を備蓄していますか。

簡易コンロ・ボンベをお持ちの方は、冷蔵・冷凍庫にある食料や乾麺等も備蓄している食料の対象としてください。避難所の応急給水栓、または町会によるスタンドパイプからの給水が可能とします。

1. 2週間分以上	12人	6.8%
2. 1週間分以上	40人	22.6%
3. 3日分以上	64人	36.2%
4. 1日分以上	25人	14.1%
5. 備蓄していない	35人	19.8%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問23：在宅避難には、食料・水以外の資機材・備蓄品も必要となります。備蓄している物品は何ですか。（複数回答可）

1. 簡易コンロ	98人	55.4%
2. ガスボンベ（3本以上）	77人	43.5%
3. 蓄電池（スマートフォン用）	71人	40.1%
4. ポータブル電源（100V電源として使用可能な物）	26人	14.7%
5. 給水袋（給水口が大きいもの、ペットボトルを除く）	62人	35.0%
6. 携帯トイレ（1人1日5回で世帯人数分以上）	94人	53.1%
7. ライト（懐中電灯・LEDランタン・ヘッドライト）	144人	81.4%
8. その他	15人	8.5%
無回答	5人	2.8%
全体	592人	

設問24：大規模な地震が発生し、自宅は被害はなく、安全ですが、排水管の損傷が確認できないため、トイレは使用できません。なお、避難所等に行けば、給水栓による給水が受けられます。この状況で停電、断水が発生している場合、あなたはどのような避難方法をとりますか。

1. トイレが使用できないので、ライフラインの状況に関わらず、在宅避難しない	27人	15.3%
2. トイレが使用できなくても、停電していなければ在宅避難する	31人	17.5%
3. トイレが使用できなくても、断水していなければ在宅避難する	20人	11.3%
4. トイレが使用できなくても、停電・断水していなければ在宅避難する	55人	31.1%
5. トイレが使用できず、停電、断水していても在宅避難する	38人	21.5%
6. その他	5人	2.8%
無回答	1人	0.6%
全体	177人	100.0%

設問25：区では、災害に備え、共助についての施策や町会活動等への支援等を行っています。あなたは、どのような取り組みや制度を知っていますか。（複数回答可）

1. 町会への加入・町会活動	116人	65.5%
2. 防災団（自主防災組織）の活動	49人	27.7%
3. 消防団の活動	83人	46.9%
4. 町会単位での防災訓練	57人	32.2%
5. 町会防災倉庫の設置	52人	29.4%
6. 避難行動要支援名簿制度	15人	8.5%
7. 社会福祉協議会による災害ボランティア登録制度	17人	9.6%
8. 町会を中心とした避難所運営委員会での活動	14人	7.9%
9. その他	10人	5.6%
無回答	2人	1.1%
全体	415人	

設問26：大地震などの災害が起ったときに、あなたは近隣に住む家族以外のために、どのような助け合いや協力ができますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

1. 安否確認	114人	64.4%
2. 安全な場所への避難の手助け	87人	49.2%
3. 災害状況や避難情報の伝達	72人	40.7%
4. 家族や関係機関等への電話連絡	61人	34.5%
5. 一時的な保護	27人	15.3%
6. 食料・水の提供・運搬	44人	24.9%
7. 生活必需品の確保（食料・水以外）	21人	11.9%
8. 介護や手当て	17人	9.6%
9. 精神的ケア	21人	11.9%
10. 避難所での活動（食事配給、物資管理・運搬、受付など）	67人	37.9%
11. 町会での活動（要配慮者への物資配布、巡回パトロールなど）	42人	23.7%
12. 協力できない、または難しい	17人	9.6%
13. その他	1人	0.6%
無回答	1人	0.6%
全体	592人	

設問27：設問26で選択肢1～11、13を選択した方にお伺いします。

活動する場合、どのような活動拠点で参加したいと思いますか。（複数回答可）

1. 町会での活動（避難所運営除く）に参加する	84人	52.8%
2. 避難所運営での活動に参加する	70人	44.0%
3. 会社・学校単位での活動に参加する	43人	27.0%
4. 社会福祉協議会が運営する災害ボランティアに参加する	14人	8.8%
5. 知人・友人との協力、紹介等を通じて参加する （選択肢1～4での活動を除く）	39人	24.5%
6. その他	4人	2.5%
無回答	2人	1.3%
全体	256人	

設問28：設問26で選択肢12「協力できない、または難しい」を選択した方にお伺いします。

その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 近所付き合いがあまりないから	6人	35.3%
2. 自分自身の身体が不自由だから	3人	17.6%
3. 自分の家族にも高齢者や乳幼児などがいるから	4人	23.5%
4. 災害時要支援者がどこにいるか分からないから	4人	23.5%
5. 他人のことにあまり関わりたくないから	1人	5.9%
6. 行政が直接支援すべきだと思うから	1人	5.9%
7. その他	4人	23.5%
全体	23人	

設問29：荒川が氾濫した場合、区内の多くが浸水エリアになり、2週間以上水につかることが想定されるため、区は広域避難を促します。あなたは、荒川氾濫など大規模水害時に、広域避難をしますか。

1. 広域避難する	106人	59.9%
2. 広域避難しない	42人	23.7%
3. 広域避難を要しない地域に居住している	22人	12.4%
4. その他	4人	2.3%
無回答	3人	1.7%
全体	177人	100.0%

設問30：設問29で選択肢1「広域避難をする」を選択した方にお伺いします。
どこに避難をしますか。

1. 友人・知人宅、親戚宅、別宅	57人	53.8%
2. 民間施設（ホテル・旅館等）	7人	6.6%
3. 勤務（通学）先や関連施設	6人	5.7%
4. 避難先として行政から指定された施設	34人	32.1%
5. その他	2人	1.9%
全体	106人	100.0%

設問31：設問29で選択肢2「広域避難をしない」を選択した方にお伺いします。
その理由は何ですか。（複数選択可）

1. 仕事や学校があるから	7人	16.7%
2. 家や家財から長く離れることが心配だから	10人	23.8%
3. 広域避難する先の当てがないから	11人	26.2%
4. 遠方への避難が困難な家族がいるから	3人	7.1%
5. ペットを飼っているから	5人	11.9%
6. 自宅が一番安全だと思うから	24人	57.1%
7. その他	1人	2.4%
全体	61人	

設問32：今後の災害対策について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和7年度 第3回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和7年11月
台東区総務部広報課
令和7年度登録第56号